

平成26年度事業計画

I 基本要領

1. 役員

理事	13人（理事長、副理事長、常務理事含む）
監事	2人

2. 評議員 15人

II 事業方針

【法人運営】

平成24年4月1日に「公益財団法人」として新たなスタートを切った当財団は、地域住民の自発性に基づく生涯にわたる学習要求等に応えるため、生涯学習機会や情報の提供、住民交流活動の支援、促進等必要な事業を行い、生涯学習の推進及び協働のまちづくりの推進に寄与することを目的に平成2年に設立され、来年3月に設立25周年を迎えます。

その目的達成のため、生涯学習事業と施設管理を“公益”の観点から常に検証し、新亀岡市生涯学習推進基本計画（平成22年度から10年計画）を基本に、行政と連携するなかで民間活力を十分に発揮し、『生涯学習都市宣言』にふさわしい資質を備え、市民の福祉向上に寄与していくため、各種事業を進めていきます。

また、新公益法人制度の下で、運営組織の見直しや明確化と効率化、透明性の確保、法人のガバナンスの強化、コンプライアンスの強化を進め、公益法人としての社会的信用、使命感及び責任感を持って、一層の充実を図ります。

【生涯学習事業】

生涯学習事業では、市民の様々な学習意欲に対応し、“始めるきっかけの場”を多彩に提供していきます。その中心に、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）を据え、さらに市民の要望に沿った自主事業も加えて、充実発展させていきます。また、市内の総合大学である京都学園大学や、亀岡市文化資料館等と連携し、その知的資源を活用した事業を展開します。

本市生涯学習施策の特長の一つは、“循環型生涯学習”です。その一環として当財団では、生涯学習に関する様々な分野において指導・相談などを行う講師を登録した「ガレリアかめおか人材バンク制度」を運営しています。自治会をはじめ市内で活動する団体に積極的に働きかけ、本制度のさらなる普及・活用を図ります。

もう一つの特長は、“協働”による生涯学習です。亀岡市の生涯学習施策の中核を担う公益法人として、民間と行政をつなぎ、効果的な生涯学習の推進に寄与していくための取り組みを行います。亀岡市の「まちづくり協働推進実施計画」に沿い、自主的な学習活動や成果発表が促進できるよう「生涯学習事業助成制度」の効果的運用や、かめおか市民活動推進センターへの支援により、市民の自主的な公益活動を応援します。また、亀岡国際交流協会との連携により、国際交流事業（ホームステイ、留学生交流等）を実施します。

【施設運営管理】

生涯学習施設「ガレリアかめおか」の管理・運営は、亀岡市から指定管理者として平成18年度から指定を受けています。利用者は年々増加しており、昨年12月には利用者累計が850万人を突破しました。

「道の駅」の情報発信機能を最大限有効活用し、全国へ施設の素晴らしさを更に発信していきます。

また、今年度は指定管理者3期目（平成25年度～28年度）の2年目となります。施設運営については、竣工以来15年が経過し、年々修繕費や更新備品費が増大してきていますが、効率的な運営と行政との強い連携で、利用者が安全・安心・快適を実感していただけるよう最善の設備とサービスを提供していきます。

事業方針を達成するため、平成26年度の事業計画に基づき、各種事業の計画的、積極的な執行に取り組みます。

1. 生涯学習文化振興事業

財団の生涯学習推進については、市民の生きがいを育むため、各人の自発的意思に基づく学習活動がより活発に、より幅広く展開されるよう、学習機会の効率的・効果的な提供に努めます。

市民の生涯学習への関心を高めるため、情報誌（Manabian（まなびあん）、ガレリアニュース等）やインターネット（ガレリアかめおかホームページ、facebook等）、ポスター、チラシをはじめとする様々な広報媒体を通じて、市民への多彩で効果的な情報発信に努めます。

また、生涯学習に関する優れた技能や知識を持った方々を、広く市民に紹介する「ギャラリーかめおか人材バンク」の普及・活用をすすめ、生涯学習の成果が次の学習者や地域に還元される循環型生涯学習の推進に向け積極的に取り組みます。

さらに、「生涯学習事業助成制度」の効果的活用による市民の生涯学習活動への事業費助成や各種事業への後援、「かめおか市民活動推進センター」へのサポートなどを通じて、市民との協働による生涯学習の推進を図ります。

当財団主催の事業については、三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、丹波学トーク、亀岡生涯学習市民大学）をはじめ、各種講演会や文化芸術事業、生涯学習講座の一層の内容充実を図り、市民ニーズに応える亀岡らしい個性ある事業や新規事業の実施に努めるとともに、京都学園大学などの大学や団体・企業とも連携し、その知的資源を活用した事業に取り組みます。

国際交流事業については、亀岡国際交流協会と連携した取り組みをすすめ、地域の外国人と市民との出会い、交流、相互理解のきっかけとなる機会を提供し、多文化共生のまちづくりに寄与します。また、クニッテルフェルト市姉妹都市盟約締結50周年を記念した事業を実施します。

こうした生涯学習事業の一層の充実・推進のため、研修等により財団職員の意識改革を図るとともに、先進地や関係機関との情報交換、視察などによる調査研究活動をすすめます。

実施計画は別紙のとおり

2. 生涯学習施設の管理運営事業

亀岡市から指定をうけた生涯学習施設の管理運営業務を、より効果的・効率的に行います。

- (1) 「ギャラリーかめおか」情報交歓施設（ロビーギャラリー等）、学習活動施設（陶芸室、工作室、創作室、料理実習室、研究室、市民団体情報提供室、大広間、会議室、研修室、和室研修室等）、情報提供発信施設（企画展示室等）、新産業振興施設（コンベンションホール、響ホール等）、エイジレスセンター、憩いと観光情報施設の管理運営業務。
- (2) 「ギャラリーかめおか」の使用許可申請の受理、許可、取消に関する業務。
- (3) 「ギャラリーかめおか条例」及び「ギャラリーかめおか条例施行規則」等に基づく「ギャラリーかめおか」の利用料金徴収及び減免に関する業務。
- (4) 「ギャラリーかめおか」の施設、付帯設備及び物品の維持管理に関する業務。
- (5) 「ギャラリーかめおか」の防火管理業務及び消防計画の作成。
- (6) その他、亀岡市が特に必要と認める業務。

【平成26年度事業計画】

1. 生涯学習に関する情報サービスと広報

(1) 情報誌「Manabian」の発行

生涯学習振興・推進と財団事業の理解促進のため、市民に生涯学習情報や『ギャラリーかめおか』の施設情報を提供します。(年1回)

(2) ガレリアニュースの発行

「ギャラリーかめおか」からの月刊紙として、施設の利用促進をはじめ、生涯学習団体・サークルなどの活動及び生涯学習事業の内容を広く紹介するとともに、亀岡市広報紙との連携を図り、効果的な情報発信を行います。

また、市外からの事業参加促進やギャラリー施設の利用拡大を図るため、南丹市の園部町・八木町地域への新聞折込を継続します。

(3) インターネットを使った情報発信

ギャラリーかめおかのホームページを通じて、市民のニーズに応える魅力的な情報を適時に発信します。

また、facebook等を活用し、即時性が高い情報を迅速に提供します。

(4) 各種広告掲載

新聞などあらゆる広報媒体を活用し、また、チラシ・ポスターの掲出等、各種団体・施設等の協力を得て、生涯学習関係の効果的な広報活動を展開します。

(5) 講演記録のデジタル化

今日までの財産ともいえる3大シンボル講座における各分野にわたる講演会の記録をDVD化し、貸し出しを行い、市民の学習意欲に応えます。

2. 自発的生涯学習活動の援助・促進

(1) 生涯学習関連事業の開催相談及び講師紹介、派遣

「ギャラリーかめおか人材バンク」に登録された指導者の情報を広く、多面的に広報するとともに、指導者の派遣を積極的に進めます。また、市民や各種団体の生涯学習活動に、積極的なサポートを行います。

(2) 生涯学習活動への助成

「生涯学習事業助成要項」に基づき、亀岡市の生涯学習振興に寄与する自主的な生涯学習活動に対して助成します。また、京都府、亀岡市の助成制度との整合を図り、事業助成の効果を高めます。

(3) かめおか市民活動推進センターの支援

「かめおか市民活動推進センター」が、自発的な市民活動の中間支援機関としてその能力が発揮できるよう、亀岡市や併設されている「京都府南丹パートナーシップセンター」と密接に連携し支援を行います。

(4) 各種事業への後援

市民・企業・団体などが実施する各種事業で、生涯学習の促進に効果的なものについて、積極的に後援します。

3. 生涯学習振興・推進のための調査・研究活動

グローバルな視野や市民協働の視点を持ち、先進地や各種関係機関との情報交換・交流を積極的に行い、生涯学習を一層進展させるための調査・研究を行います。

4. 財団主催生涯学習機会提供事業

(1) 講演会事業

① コレージュ・ド・カメオカ

生涯学習都市亀岡のシンボル講座として、著名な講師を招いて講演会を開催します。

② ～ダイナミックかめおか～丹波学トーク

様々な角度から、講師と参加者が一体となって郷土の歴史や文化などの貴重な資源を学び、探求し、地域を越えて広い視野からの丹波学を確立していきます。

また、大学等の教育機関との連携も積極的に行います。

③ 亀岡生涯学習市民大学

市民が企画から運営まで行う自立した市民大学とするため一層の充実を図ります。

運営委員会へのより積極的な市民参画を図り、その経験・知識・技術を結集し、市民ニーズを的確に反映できる体制を整えます。聴講者へは新たな発見・感動の生涯学習の場となる市民大学の展開を図ります。

④ 各種生涯学習講演会

亀岡で活躍する、または亀岡出身の講師による講演や、適時性のある講演、若い世代が興味を持つ内容の講演等を実施し、市民の自発的な生涯学習活動のきっかけづくりや促進を図ります。

また、亀岡市内唯一の総合大学である京都学園大学と連携し、同大学が持つ豊富な知的資源を活用した講演会を実施します。

(2) 文化芸術事業

①若い芸術家の発掘と育成事業

亀岡市内で活動し、技術力のあるアマチュア音楽グループに発表の機会を提供し、また市民に鑑賞の機会を提供します。

②オカリナプロジェクト

オカリナ製作、演奏により陶芸・音楽を通して、市民オカリナ演奏団の拡大を図ります。また、素朴な響きを持つオカリナ音楽を市民に広め、人や自然にやさしいまちづくりに寄与します。

③コンサート・ライブ等の開催

芸術を通して生涯学習の推進を図るため、コンサート・ライブ等を開催し、市民に芸術鑑賞の機会や交流の場を提供します。

④亀岡市民文化祭・亀岡市美術展

市民主体の運営により文化芸術の振興を図り、豊かな人間性の形成と文化交流の輪を広げるため一層の充実を図ります。

(3) 生涯学習講座

①各種自主講座

地元講師による講座や、地域素材を活用した講座、市民からの要望の高い講座等を実施し、生涯学習のきっかけづくりとします。

②外国語講座

外国語の学習を通じて、海外の文化について関心を高め、理解を深める機会の提供を行います。今まで継続してきた中国語講座に加え、ドイツ語講座を新たに開講し、亀岡の姉妹都市の言語に対応できる語学講座として、学習の幅を広げます。

(4) 国際交流事業

グローバル化が進む社会に対応するため、外国人との交流を進め、互いの文化を理解し、多民族が平和に共生できる多文化共生社会の構築に貢献します。

亀岡国際交流協会との連携により、ホームステイ・ホームビジット事業などの交流事業を実施します。また、外国人のための日本語教室を開講し、外国人が亀岡で生活する上で必要な日本語習得のサポートを行いながら、市民と外国人が快適に暮らせるためのネットワーク作りに努めます。

さらに、今年姉妹都市盟約締結50周年を迎える、オーストリア・クニッテルフェルト市との友好を深める「クニッテルフェルト市民訪問団」(仮称)を派遣します。
(9月下旬～10月上旬予定)